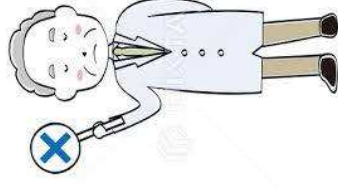




「アタはええわなあ、ポツクリ死ぬるから。家族は困るやろ」
ええ！っ！私が死ぬ？そんなん困る困る。
長男は今年大学へ入ったばかり。次男も長女もいて、これから教育費が最も掛かる時。家のローンも有るし、
その上、一人暮らしの父親の面倒は誰が見るのよ……。

病院の帰り道、私の頭の中はさつきの医師の言葉がグルグル回っていました。



私はまだ死なれへん。病氣と闘おう」
そう決心した私は、毎月一回の検診に通い、医師と栄養士の指示に全面的に従いました。毎日食べた物を全てノートに書きチエックして貰う。
油濃い物を避け、体に良さそうな物を考えて取るようにしました。運動不足解消のため、毎日大和川の土手を歩きました。その甲斐があつて一年後には体重も六キロ減。コレステロールも血圧も脂肪肝も正常に戻りました。

あれから十五年。今も薬とは縁がきれませんが、特に重大な症状もなく、健康な人よりも元気に動き回っています。
もしあの時の医師が、私に優しい言葉をかけてくれたら私はそれに甘えてしまつていたでしょう。
考えるとゾツとします。
先生の毒舌に心より感謝しています。

夢

大垣 公枝

夢は大きい方がいい、そして思い返した時、明るい感じで増々膨らんでいくものもいい。

おとうさまねんね眼鏡をかけて、おねんね。ねんね夢みてねんね。
。夢見の眼鏡どんな夢みえる、のぞいてみたら、私の顔が私の顔が」と。

私が小さかった頃、家の中で流れていたレコードの童謡です。
エッセーの課題の「夢」に何を書こうかと悩んでいましたら、ふっと浮かんできましたのが、この歌詞です。

改めて夢つて不議な力をもっているなあと思いました。

大きな夢、小さな夢、色々ありますが、私はやはり楽しい夢が欲しいです。

ふっと現れて、ふっと消える明るい夢が大好きです。

よく夢を叶えて下さいと、神様のお願いしますが、本当の夢は自分自身で考えた人生に向かつて努力する事が大切だと思います。

何とかなるでは日々迫つて来ては過ぎ去つて行く時間が惜しまれます。

あと、そんなに長くない時間をもっと大切に過ごしたいと思います。

三編 文章表現を楽しむ科よりご投稿いただきました。

